



皆さんの意見を
県政に反映させて
いきたい...だから

政務協力者を 募集しています

県政は地域づくりです。自分たちの住む将来の地域課題に関心のある方、政務協力者として一緒に行動しませんか。

- 男女の出会い創造班
- 集落営農研究班
- 自殺予防検討班
- 商店街活性化班
- 介護・福祉 医療研究班
- 人材育成塾開設班
- 学校教育・社会教育推進班
- 地域交通アクセス検討班

皆さんでできることからのスタートになります。お問い合わせは、門脇みつひろ事務所(下記)まで。

2月定例県議会で多かった「言った、言わない」のやり取りに「建設的な要素」は見出せません
もっと重要議題がたくさんあります



秋田県議会「会派いぶき」
〒010-8570
秋田市山王 4-1-1 秋田県議会棟内
電話 0187-8602094 FAX 0187-8602105

門脇みつひろ事務所
〒014-0512
仙北郡西木村上荒井字新屋 10-1
電話 0187-525188 FAX 0187-525189
ホームページ <http://www.kadosan.com/>
メール info@kadosan.com

京野さきこ事務所
〒012-0826
湯沢市柳町 1-3-11
電話 0183-781555 FAX 0183-781557
ホームページ <http://www.ham-chan.jp/>

県政報告「会派いぶき活動レポート」
仙北編 4 2004春発行
発行元:秋田県議会会派「いぶき」
発行者:会派いぶき代表 門脇 光浩

秋田県議会 ● 会派 いぶき 元気主義

秋田県議会二月定例会は、平成十五年
度の最終補正予算と
新年度の当初予算を

決定する大事な議会でした。しかしながら、一連の知事発言がクローズアップされ、本来すべく政策議論や提言がなされたか、疑問の残る議会になってしまった感があります。今号では、審議が進む仕組み、また議論の中から見えてくる秋田の将来像、素朴な疑問などを皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

新年度の 当初予算の方向付け

自立産業の育成と雇用対策の推進
男女共同参画社会づくり
個性と実践力を育む人づくり
安心・安全に配慮した新社会資本

の整備

自立した地域社会づくり

この五つが新年度当初予算策定の方向付けです。農林水産物の自立型産地の育成、若年層を中心とした雇用対策、男女共同参画社会の推進、国際教養大学の開設、生活環境の整備、地域コミュニティの再生、市町村合併への対応、などを主なものとし、二月十八日の政党内協議で執行部側から示され、これらを実現するための事業案も提示されました。当初予算額として、一般会計で70億8700万円、特別会計42億1295万円でした。(三月二十二日に可決)。これらを受け、各会派では会派議員総会を開催します。会派としての全案件に対する本格的な調査が始まるわけです。

政策論争の 焦点は何?



苦言続出となった 代表質問

県議会では、所属議員が5名以上いる会派は、交渉会派としてその代表者が質問できることになっていました。自民党、みらい21、新生会の三会派が対象で、その代表質問が三月三日に行われました。これが荒れた二月議会の前哨戦となりました。その理由は、私見とはいえ知事が「北東北の道州制を推進し、県庁所在地は小坂か田沢湖高原が良い」と発言していたこと、また「市町村の合併交付金の条件に男女共同参画計画書を求める」などの、強権的とも取れる姿勢を議会でも問題視していたからです。三会派の代表者は、いずれも知事の政治姿勢に不信感を抱き、議会の初日から苦言が相次ぎました。その

様子の一部を要約してみました。

質問・富樫博之議員(自民党)

市町村に求めた男女共同参画計画書の策定は、合併特例交付金の交付に絡めた取引と同様ではないか。自民党及び、所属県議を誹謗中傷した事実はあるか。参照1

男女共同参画社会の実現なくして今後の社会の発展はないの思いから、合併をする市町村に、基本的な町づくり指針としてお願いしている。誹謗中傷はない。

知事は、富樫議員の質問に極めて遺憾と結んで降壇しましたが、この後に質問に立った杉江宗祐議員(みらい21)、工藤嘉左衛門議員(新生会)も苦言を呈しました。議場での質疑は、知事の不用意な発言問題に終始しました。

本会議だけではない 政策論議

議会日誌

2月18日...各会派の政党内協議
本会議の1週間ほど前に開かれる説明会で、審議予定案件の大枠が県執行部から提出されます。最大会派の自民党には知事、第二会派のみらい21には副知事が対応、2人会派のいぶきは諸会派として他の小会派と一緒に財政課長から説明を受けました。

2月18日...議会運営委員会
議会の進行日程を審議するのが議会運営委員会です。今議会に関連して開催された議会運営委員会の日数は5日間に及びます。いぶきは2名ですのでオブザーバー参加となっています。

2月25日...激論の常任委員会
付託された案件の実質的な審議は各常任委員会で行われます。議員は事前作業として徹底的な議案調査を実施します。今議会中の常任委員会は8日間にわたる激論の場となりました。

県議会に 与野党はあるの?

二元代表制の県議会

皆さんご存知のように、国の場合は、議院内閣制といって内閣総理大臣を国会議員の中から選出しています。県の場合、知事と議員は県民が直接選挙で選びます。これを二元代表制と呼んでいます。

内閣総理大臣が所属する政党や協力する政党を与党、そうでない政党を野党と区別した政党政治に対し、県議会の場合は、知事が県議の中から選ばれていませんので与党も野党もありません。あるとすれば、知事の政治信条を支持するか否定するかの違いです。

会派いぶきでは県議会は県民のものという立場で、必要とする政策にはその実現に向けて行動し、筋が通らない場合はノーと応えています。



参照1: 寺田知事が秋田市内のあるセミナーで、県知事として講演した際に発言があったとされることを追求。最終的には「誤解を招いた」と知事が陳謝した

ちよつと
お免強



秋田県議会 会派 i b u r k i
元気主義

秋田県議会二月定例会の一般質問では、登壇した各議員が持ち味を生かした鋭い質問がありました。一般

質問は三月四日～五日に行われ、五人の議員が登壇しました。その内特に印象的だった三人の質疑を取り上げ、自分の考えを述べます。

後、具体策を検討し提案したいと思います。

白神山周辺遊歩道にコンクリート製の擬木階段があった。自然遺産を残すには、外部から材料を持ち込まない、設計は机上作業ではなく現場で行うよう改めるなどの考え方が必要では（中田潤議員・みらい21）に対し、【県】その通りです。

「門脇は思います」同感です。ハイキング感覚で整備すること自体、間違っています。白神以外にもそうした場所があるかもしれません。調査して改善を働きかけていきます。

男女共同参画計画書の必要性を肯定（佐藤次男議員・民主党）した意見に、【県】平成17年度までほぼ全市町村で策定がなされる見込みです。

月刊誌「農業秋田」廃刊に伴う農業技術の情報伝達力の低下を懸念した（中泉松之助議員・自民党）に対し、【県】県のホームページ、J A や市町村と協力して情報提供を行う。「門脇は思います」廃刊は残念なこと。問題はこれからです。農家のパソコン普及の現状や、県と関係機関との連携、さらには、農家への伝達システムが明確でなかったため、今

を促す意識改革が重要で、町づくりの柱とした気持ちには理解できませんが、強権的では市町村との信頼関係は保てません。このままでは心配。

議論から見えてきた 秋田の指針

シリーズ



インタビュー

Q 県議会議員の仕事って何ですか？

あすの秋田に夢を描き、また県行政全般にわたるチェック、それと地域の声を背負い、地域課題の洗い出しや解決に向け運動を展開することだと思います。

Q 少数会派での不便はありますか？

議会は数の世界と言われますから、ないと言えばウソになります。でも政治的な主義や思想をこえた、他党派議員の方々からの協力で助けられています。

Q 大曲養護学校のスクールバス運行は？

今まで角館・田沢湖・西木方面になかった大曲養護学校のスクールバスが運行されることになりました。家庭から通学することで父兄の安心感を増すことができると思っています。

Q 釣りバカ日誌 15のロケ誘致は？

角館町やフィルムコミッションの皆さん、それに関係市町村の頑張りですね。自分はその想いを伝えて歩いていただけであり役にたっていないかと(笑)...

Q 介護施設の実現に参加していますね？

田沢湖町のNPO運営による介護施設実現に向け、一緒に勉強させていただきました。小さな施設ですが皆さんとても熱心で、地域で支え合うモデルになると思っています。

Q 農産物の販売会に行ったそうですが？

地元の会の皆さんと、東京都内にあるスーパーで実演販売会に行ってきた。農産物の販売先を増やせるよう、ネットワークづくりに頑張ります。

総括質疑で知事と一問一答

森林のあり方を提言 まず検討会議を

三月十八日、十二月議会に続き総括質疑に臨みました。以下は知事に提案した概要ですが、残念ながら確約をいただくことはできませんでした。勉強不足を反省しています。

森林の保全対策は全国的な議論が必要ですが、地方自治は自分のできることは自分が行うことを基本とします。県民自ら活動を起こすことが重要と考えます。

秋田県の森林は、木材市況の低迷や管理する担い手の高齢化、不在地主の増加などで、どんどん元気がなくなっています。知事は平成十四年九月議会で「新たな法定外目的税（森林環境保全税など）の研究を進め、その成果を国にアピールする」と、積極的姿勢を見せていた



ようすが、今議会では「環境保全」は国家的に進めること。地方税などでは僅かな財源に留まる」という考へ方に変わってきています。どんな経緯を踏んだか、そもそも議論があったのか、ご説明ください。

地方分権の旗手のような知事が森林保全のことに、都市部の皆さんに応分

秋田の森林は県民の財産です。自分たちの財産を保全するために会議を起し、議論の末で法定外目的税としての森林環境税が出てきたのなら、県民の皆さんだって理解いただけると思います。部局を越え、県民に参加をいただく検討の場をつくってください。

いつでも元気主義

今年になって北仙北四力町村内十五力所で、あきた県政懇談会を開催しました。県政の今を伝え、参加された皆さんから教えをいただき、また心配事を解決する糸口を探る活動です。

この後、仙北町、太田町、千畑町、六郷町、仙南村、南外村、神岡町、西仙北町、協和町と訪問させていただきます。後日配布の告知チラシなどで日程を確認し、ご参加ください。

